コード No. 10121

Anti-Rat
MCP-1 (MB10) Mouse IgG MoAb

容量 ： 100 µg

はじめに ： Monocyte Chemoattractant Protein-1 (MCP-1)は、76 個のアミノ酸からなる塩基性タンパク質で、その構造からケモカインの中の C-C サブファミリーに分類されます。MCP-1 は、単球に対して特異的な遊走活性を示し、単球表面の接着分子の発現にも関与しており、炎症局所への単球の遊走、内皮細胞との接着および内皮下への浸潤というプロセスに深い関わりを持つと考えられています。実際の疾患では、MCP-1 は、慢性関節リウマチ、肺線維症、腎炎などの慢性炎症性疾患、粥状動脈硬化症および種々の悪性腫瘍で産生が認められ、局所の単球/マクロファージの浸潤に、重要な役割を果たしていると考えられています。

免疫抗原 ： Rat MCP-1 のリコンビナントタンパク質

起源 ： マウス×マウス ハイブリドーマ
(X63 – Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 ： MB10 サブクラス ： IgG_1

精製方法 ： Protein A による特異精製

包装形態 ： 1 % BSA，0.05 % NaN_3 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 ： 精製水 1.0 mL 添加（この時濃度は 100 µg/mL となります）

保存方法及び安定性 ： 2～8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び ： ウエスタン･ブロッティング 2～5 µg/mL にて使用可能

株式会社 免疫生物研究所
E-mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp
URL: http://www.ibl-japan.co.jp

011218/NK
090403/KK
110127/KK
131016/KK

コード No. 10121

Anti-Rat
MCP-1 (MB10) Mouse IgG MoAb

容量 ： 10 µg

はじめに ： Monocyte Chemoattractant Protein-1 (MCP-1)は、76 個のアミノ酸からなる塩基性タンパク質で、その構造からケモカインの中の C-C サブファミリーに分類されます。MCP-1 は、単球に対して特異的な遊走活性を示し、単球表面の接着分子の発現にも関与しており、炎症局所への単球の遊走、内皮細胞との接着および内皮下への浸潤というプロセスに深い関わりを持つと考えられています。実際の疾患では、MCP-1 は、慢性関節リウマチ、肺線維症、腎炎などの慢性炎症性疾患、粥状動脈硬化症および種々の悪性腫瘍で産生が認められ、局所の単球/マクロファージの浸潤に、重要な役割を果たしていると考えられています。

免疫抗原 ： Rat MCP-1 のリコンビナントタンパク質

起源 ： マウス×マウス ハイブリドーマ
(X63 – Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 ： MB10 サブクラス ： IgG_1

精製方法 ： Protein A による特異精製

包装形態 ： 1 % BSA, 0.05 % NaN_3 含有 PBS 0.1 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 ： 精製水 0.1 mL 添加（この時濃度は 100 µg/mL となります）

保存方法及び安定性 ： 2～8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び ： ウエスタン･ブロッティング 2～5 µg/mL にて使用可能

株式会社 免疫生物研究所
E-mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp
URL: http://www.ibl-japan.co.jp

011218/NK
090403/KK
110127/KK
131016/KK